

フランスの教会 ⑤

ル・アーブル 塔の教会

サン・ジョセフ教会 Eglise St-Joseph

設計者：オーギュスト・ペレ Auguste Perret

1964 年献堂

訪問：2013 年 5 月 3 日

戦後の大プロジェクト、建築家ペレによるコンクリート打放しのモダンな教会

戦後再建されたサン・ジョセフ教会は、コンクリート造、高い塔がそびえ立っています。外観はコンクリートの強く固い印象ですが、内部のステンドグラスは精緻で色鮮やか、美しい細かい模様の中から礼拝堂に優しい光が差し込んでいました。

第二次世界大戦中、ル・アーブルの町は爆撃により中心市街は廃墟となり、ヨーロッパの都市の中でも最大級の惨状でした。町の再建に取り組んだのが建築家オーギュスト・ペレです。ペレは鉄筋コンクリート造という新しい技術により芸術的な表現を追求しました。



サン・ジョセフ教会

町全体の大プロジェクト、都市計画により、中心街は碁盤目状に、横に走る街路は幾何学的に配置しています。道路もまっすぐで広く、モダンな集合住宅も統一がとれて、ル・アーブルは整然とした町並みです。

パリ・サン・ラザール駅から朝 8:56 発の列車に乗る。木々も草も新緑、菜の花畑の鮮やかな黄色、花盛りのリンゴの木、のんびり草を食む牛、馬、羊、陽射し明るく大地の息吹を感じる車窓を楽しみ約 2 時間で、ノルマンディー最大の港町ル・アーブルに到着。

空は青く晴れわたり、絵を描きたくくなるような光輝く海、印象派が生まれた町であることを実感しました。港の近くには、アンドレ・マルロー美術館があり、モネ、ピサロ、ルノワールなど名画の数々を、モダンな光あふれる空間で鑑賞しました。



北西フランス ノルマンディー



ル・アーブルはセーヌ川河口に開かれた町



ノルマンディー最大の港町ル・アーブル



港の公園



ル・アーブル駅



ペレによる市庁舎

サン・ジョセフ教会



そびえ立つ塔



教会メイン出入口



礼拝堂の中心に塔状空間 ステンドグラスの素晴らしさ



塔状部より降りそそぐ光



塔状部



天蓋



会衆席と聖壇、天蓋



聖壇を囲む会衆席



パイプオルガン



聖壇と天蓋



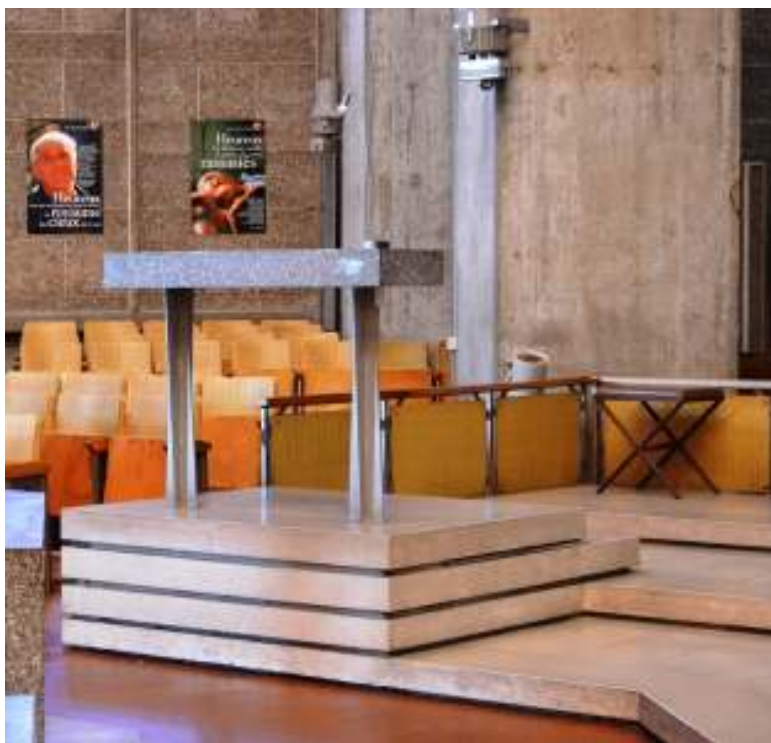
聖壇を跪座台が囲む



聖卓



洗礼盤



シンプルな説教台